

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	赤 衣 病	赤 星 病	斑 点 落 葉 病	褐 斑 病	黒 星 病	黒 点 病	すす 病	すす 斑 病	モ ニ リ ア 病	輪 紋 羽 病	白 紋 羽 病	紫 紋 羽 病	う ど ん こ 病	炭 疽 病	腐 らん 病	灰 色 か び 病	銀 葉 病
I C ボルドー412FL	M1		-	-			◎◎◎						◎◎					◎			
Z ボルドー水	M1		-	-							◎◎										
クプロシールドFL	M1		-	-			◎			◎◎			◎								
コサイド3000DF	M1		-	-			◎◎			◎◎			◎								
イオウFL	M2		*p	-			◎◎										◎				
クムラス顆水	M2		-	-													◎				
コロナFL	M2		-	-													◎				
石灰硫黄合剤	M2		-	-								◎					◎				
			*b	-				◎													
			*o	-															◎		
トップジンM水㊟	1		1	6			◎◎◎◎◎◎◎						◎				◎		◎		
			*c	1										◎							
			*f	1										苗							
トップジンMペースト㊟	1		*e	3									◎						◎		
ベンレート水㊟	1		1	4			◎◎◎◎◎◎◎					◎					◎		◎		
			*j	-										苗							
アフエットFL	7		1	3		◎◎◎◎◎◎◎◎						◎					◎				
カナメFL	7	劇	1	3		◎◎◎◎◎◎◎◎						◎					◎			◎	
バレード15FL	7		1	2		◎◎◎◎◎◎◎◎						◎					◎			◎	
フルーツセイバーFL	7		1	3		◎◎◎◎◎◎◎◎						◎					◎			◎	
スクレアFL	11		1	3				◎				◎◎					◎				
ストロビーDF	11		1	3		◎◎◎◎◎◎◎◎						◎◎					◎◎				
ファンタジスタ顆水	11		1	3			◎◎◎◎◎◎◎◎					◎◎					◎◎				
フリントFL25	11		1	4			◎◎◎◎◎◎◎◎					◎						◎◎			
パビンコFL	11A		1	3			◎◎◎◎◎◎◎◎					◎						◎			
フロンサイドS C	29		45	1			◎◎◎			◎◎◎◎◎◎◎◎			◎◎								
			*k	1										苗	苗						
			*L	1										苗	苗						
			*q	1				落													
フルピカFL	9		21	5			◎	◎				◎					◎				
ユニックス顆水47	9		14	4			◎◎◎					◎					◎				
スミレックス水	2		90	4								◎									

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (回数)	使用 回数	赤 衣 病	赤 星 病	斑 点 落 葉 病	褐 斑 病	黒 星 病	黒 点 病	すす 病	すす 斑 病	モ ニ リ ア 病	輪 紋 羽 病	白 紋 羽 病	紫 紋 羽 病	う どん こ 病	炭 疽 病	腐 爛 病	灰 色 か び 病	銀 葉 病
フジワン粒	6		*a	2										◎							
リゾレックス水	14		60	1											◎						
アンビルFL	3		7	3	◎	◎	◎	◎				◎				◎					
インダーFL	3		14	3	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					
オーシャイン水	3		7	5	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎				◎					
オーシャインFL	3		7	5	◎			◎				◎				◎					
オンリーワンFL	3		7	3	◎	◎	◎	◎	◎			◎				◎				◎	
サンリット水	3		7	3	◎	◎	◎	◎				◎				◎					
スコア顆水	3		14	3	◎	◎	◎	◎	◎			◎				◎					
トリフミン水	3		1	3	◎	◎		◎								◎					
マネーヅDF	3		21	3	◎			◎								◎					
ルビゲン水	3		30	3	◎			◎								◎					
ポリオキシシンAL水	19		3	3	◎		◎	◎								◎					
アリエッティ水	P7		1	3			◎	◎		◎	◎										
オキシンドー水80	M1		14	4			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
キノンドーFL	M1		14	4			◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎				
ドキリンFL	M1		14	4			◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎				
バッチレート塗	M1		*n	3	◎														◎		◎
ヨネボン水	M1		30	5				◎	◎		◎	◎									
アントラコール顆水	M3		45	4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ジマンダイセン水	M3		30	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
チオノックFL	M3		30	5		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎			◎	
トレノックスFL	M3		30	5		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎			◎	
ペンコゼブ水	M3		30	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
オーソサイド水80	M4		1	6			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ダコニール1000FL	M5		45	3			◎		◎			◎									
パスポート顆水	M5		45	3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ベフラン液25	M7	劇	1				◎	◎	◎		◎	◎	◎								
			*i	*g					◎			◎					◎		◎		
			*o																◎		
			*f	-												苗					
ベルクートFL	M7		1	*g			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使 用 回 数	赤 衣 病	赤 星 病	斑 点 落 葉 病	褐 斑 病	黒 星 病	黒 点 病	すす 点 病	すす 斑 病	モ ニ ア 病	輪 紋 羽 病	白 紋 羽 病	紫 紋 羽 病	う ど ん こ 病	炭 疽 病	腐 らん 病	灰 色 か び 病	銀 葉 病
デランFL	M9	劇	60	3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎			
ストライド顆水	M11		*d	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎			
			*h	2				◎				◎									
アカリタッチ乳	-		1	-													◎				
フーモン乳	-		1	-													◎				
ラビライト水㊦	1・M3		30	1			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎		
ナリアWDG	7・11		1	3			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎		
セルカディスDFL	7・M9	劇	60	3		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎			
バンチョTF顆水	3・U6		7	2													◎				
アスパイア水	3・M3		30	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
スコアMZ水	3・M3		30	3		◎	◎		◎	◎							◎				
テーク水	3・M3		30	3		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ブローダ水	3・M3		30	3		◎	◎		◎	◎		◎					◎				
アリエッティC水	P7・M4		1	3			◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎				
オキシラン水	M1・M4		14	4			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				
ビオネクトFL	M1・-		14	4			◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎				
ダイパワー水	M4・M7		1	*g			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				

㊦：チオファネートメチル含有剤 ◎：ベノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作
での◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細は
P.856 参照）。*a:落花直後まで *b:発芽前 *c:休眠期～生育期 *d:開花～収穫前
日まで

*e:剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後(ゆ合促進) *f:植付前

*g: 6回以内(但し開花期以降散布は3回以内) *h:開花前まで

*i:展葉期 *j:植付直前 *k:植付時 *L:植付後(但し収穫開始1年前まで)

*n:剪定時及び病患部削り取り直後(ゆ合促進)

*o:休眠期 *p:発病前～発病初期 *q:落葉後～展葉期まで 苗:苗木 落:落葉

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (回数)	ア ブ ラ ム シ 類	リ ン ゴ ワ タ ム シ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	カ メ ム シ 類	ケ ム シ 類	シ ン ク イ ム シ 類	モ シ ン ク イ ム シ 類	ナ シ ヒ メ シ ン ク イ ム シ 類	ギ ン モ ン ハ モ グ リ ガ ガ 類	ハ マ キ ム シ 類	シ ヤ ク ト リ ム シ 類	ス カ シ バ ト ウ シ 類	ヒ メ ボ ク ト ウ シ 類	モ モ チ ヨ ツ キ リ ゾ ウ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ン ダ ゴ サ ビ ダ ニ 虫	そ の 他 害 虫
スピノエースFL	5	3	3						◎		◎	◎								
コロマイト乳	6	1	1	ユ								◎							◎◎	
エスマルクDF	11A	*c	-					◎					◎◎							
チューンアップ顆水	11A	*c	-					◎					◎◎							
デルフィン顆水	11A	*c	-					◎					◎◎							
バシレックス水	11A	*c	-					ケ					◎							
ファイブスター顆水	11A	*c	-					◎					◎◎							
フローバックDF	11A	*c	-					◎												
スプレーオイル	UNM	*j *d	- -		◎														越 ◎	
ハーベストオイル	UNM	*d *j	- -		◎														◎	
サンクリスタル乳	-	1	-																◎	
ハマキ天敵	-	*e	-										リ							
オリオン水40	1A	劇	1 2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							オ
サイアノックス水	1B	14	1	◎◎	ク	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎							オ
スミチオン水40	1B	30	3	◎	ク	◎			◎			◎◎	◎◎							ス
スミチオン乳	1B	30	3	◎	ク	ア			◎◎			◎	◎							グ
ダイアジノン水34	1B	劇	30 4	◎◎	◎	若	モ		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎	フ		ゾ				グ
馬拉ソン乳	1B	14	*f	◎◎	◎				◎◎	◎◎		◎							◎	
キラップFL	2B	14	2	◎		◎			◎		◎◎	◎◎								
アークリン水	3A	14	3						◎		◎	◎	◎							
アーデントFL	3A	1	3	◎		◎		◎	◎	◎	◎							◎		オ
アディオン水	3A	14	2	◎				◎	◎	◎	◎	◎◎	◎◎				◎			
スカウトFL	3A	劇	1 5	◎		◎		◎	◎	◎	◎	◎◎	◎◎							
テルスター水	3A	1	1	◎					◎		◎◎	◎◎	◎◎						な	
マブリック水20	3A	劇	30 2	◎				ヒ	◎	◎	◎	◎◎	◎◎				◎		な	
マブリックEW	3A	劇	30 2	◎				ヒ	◎	◎	◎	◎					◎			
ロディー水	3A	劇	1 2	◎		◎		◎	◎	◎	◎◎	◎◎	◎◎						な	
ロビンフッドエアゾル	3A	1	5												◎◎	◎◎	◎			
アクタラ顆溶	4A	7	2	◎◎	コ	◎		◎	◎	◎	◎◎	◎◎	◎◎							
アドマイヤー顆水	4A	劇	*b	2	◎◎	◎						◎◎	◎◎							
アルバリン顆溶	4A																			
スタークル顆溶	4A	1	3	◎		コ	◎		◎	◎	◎◎	◎◎	◎◎							

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒 性	使用時期 (回数)	使用回数 シ	ア ブ ラ ム シ 類	リ ン ゴ ワ タ ム シ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	カ メ シ 類	ケ ム シ 類	シ ン ク イ ム シ 類	モ シ ン ク イ ム シ 類	ナ シ ヒ メ シ ン ク イ ム シ 類	ギ ン モン ハ モ グ リ ガ イ	ハ マ キ ム シ 類	シ ヤ ク ト リ ム シ 類	ス カ シ バ ト ウ	ヒ メ ボ ク ト ウ	モ モ チ ヨ ツ キ リ ゾ ウ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ミ ダ ニ シ 類	リン ゴ サ ビ ダ ニ シ 類	そ の 他 害 虫	
ダントツ溶	4A		1 3	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎									こ
バリアード顆水	4A	劇	1 3	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎									
モスピラン顆溶	4A	劇	1 3	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎				◎					ギ
トランスフォームFL	4C		1 3	◎◎	◎◎	◎◎	ミ																
ディアナWDG	5		1 2						◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	ヨ							ガ
デリゲートWDG	5		1 2						◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	ヨ							ガ
コルト顆水	9B		1 3	◎◎	◎◎	◎◎																	
ニッソラン水	10A		7 2																		な		
バロックFL	10B		14 2																		な		
オマイト水	12C		3 1																		◎		
コテツFL	13	劇	1 2										◎		◎	ヨ					ナ	◎	み
アタブロンSC	15		7 4						◎						◎	ヨ							
カスケード乳	15		14 2										◎◎	◎◎	◎◎	ヨ					な		
ノーモルト乳	15		1 2						ヒ	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	ヨ							
マッチ乳	15		14 3										◎		◎								
アブロードFL	16		30 2			幼																	
ファルコンFL	18		21 3						◎				◎		◎	ヨ							
マトリックFL	18		14 2						◎						◎	ヨ							
ロムダンFL	18		1 2						◎						◎	◎							ガ
カネマイトFL	20B		7 1																		な		
マイトコーネFL	20D		1 1																		な		
サンマイト水	21A	劇	21 1																		な	◎	
ダニトロンFL	21A		30 1																		な	◎	
ピラニカ水	21A	劇	14 1	ユ																	◎◎		
ダニゲッターFL	23		1 1																		な	◎	
モベントFL	23		14 3	◎◎	◎◎	◎◎															◎◎		
スターマイトFL	25A		1 1																		◎		
ダニサラバFL	25A		1 2																		◎		
ダニコングFL	25B		1 1																		◎		
エクシレルSE	28		1 3	◎				◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	ヨ		◎					ボ
サムコルFL10	28		1 3						◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	ヨ		◎					オ
テッパン液	28		1 2					◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎		◎						ボ
フェニックスFL	28		1 2						◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	ヨ		◎					オ
ヨーバルFL	28		1 2							◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	ヨ		◎					ボ

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (回数)	ア ブ ラ ワ タ シ ム	リ ン ゴ ワ ラ ム シ	カ イ ガ ム シ	カ メ シ	ケ ム シ	シ ン ク イ ム シ	ナ モ シ ン ホ ソ ク イ	ギ ン モ ン ハ モ グ リ ガ	ギ ン モ ン ハ モ グ リ ガ	ハ マ キ ム シ	シ ヤ ク ト リ ム シ	ス カ シ バ ト	ヒ メ ボ ク ト	モ モ チ ヨ ツ キ リ ゾ ウ ム シ	カ ミ キ リ ム シ	ハ ダ ニ ニ	リ ン ゴ サ ビ ダ ニ	そ の 他 害 虫
ウララD F	29		14 2	◎◎																	
ダニオーテFL	33		1 1																◎		
アカリタッチ乳	-		1 -																◎		
ブーモン乳	-		1 -																◎		
トラサイドA乳	1B・ 1B		*a *h 3															◎			キ
ミネクトエクストラS C	15・ 28		14 3						◎		◎		◎								

*a:産卵初期～産卵最盛期直前(但し収穫30日前まで)

*b:収穫3日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)

*c:発生初期(但し収穫前日まで)

*d:芽出し直前直後又は展葉期(発芽後2週間まで)又は展葉期(発芽後3週間まで)

*e:発生初期 *f:5回以内(但し休眠期から芽出し直後までは1回以内)

*h:4～7月(但し収穫30日前まで) *i:幼虫発生期 *j:発芽前

ア:アメリカシロヒトリ

オ:オオタバコガ及びヨトウムシ

カ:ハマキムシ類(コカクモンハマキを除く)

ガ:キリガ類

キ:キクイムシ類

ギ:キリガ類及びコガネムシ類成虫

ク:クワコナカイガラムシ

グ:ナシグンバイ

ケ:アメリカシロヒトリ及びヒメシロモンドクガ

コ:コナカイガラムシ類

ス:リンゴススムシ

ゾ:リンゴハナゾウムシ

ナ:ナミハダニ

ヒ:ヒメシロモンドクガ

フ:リンゴフユシャク

ボ:オオタバコガ及びコガネムシ類

ミ:コアオカスミカメ

モ:モンシロドクガ及びアメリカシロヒトリ

ユ:ユキヤナギアブラムシ

ヨ:ヨモギエダシャク

リ:リンゴコカクモンハマキ

こ:コガネムシ類成虫

な:ナミハダニ及びリンゴハダニ

み:ミノガ類

越:ハダニ類及びハダニ類の越冬卵

若:クワコナカイガラムシ及びオオワタコナカイガラムシの若齢幼虫

幼:幼虫

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
赤星病	開花直前～ 6月中旬	- 次の薬剤のいずれかを散布する。 - オンリーワンフロアブル● 2000倍 - ジマンダイセン水和剤 500～600倍 - スコア顆粒水和剤● 3000～4000倍 - トレノックスフロアブル 500倍	病原菌はビャクシン類で越冬し、翌春の第一次伝染源となる。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
斑点落葉病	5月下旬 (落花10日後)～9月上旬	- 次の薬剤のいずれかを散布する。 - アリエッティC水和剤 800倍 - アンビルフロアブル● 1000倍 - キノンドーフロアブル 800～1000倍 - ストロビードライフフロアブル● 1500～3000倍 - トレノックスフロアブル 500倍 - フロンサイドSC 2000～2500倍 - ベルクートフロアブル 1000～1500倍 - ポリオキシシンAL水和剤 1000倍	前年の被害落葉が重要な伝染源となる。 デリシャス系の品種で9～10月に大発生することがあるので注意する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
炭疽病	6月 ～収穫期	- 次の薬剤のいずれかを散布する。 - アリエッティC水和剤 800倍 - オキシラン水和剤 500～600倍 - キノンドーフロアブル 800～1000倍 - ストライド顆粒水和剤 1500倍 - ストロビードライフフロアブル● 2000～3000倍 - デランフロアブル 1000～2000倍	6月中旬～7月中旬が重点防除時期である。 高温多湿の年に発生が多い。 被害果の処分を徹底する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
白紋羽病	植付前 (苗木) 休眠期	- 次の薬剤のいずれかに根部を浸漬する。 - トップジンM水和剤^{#1}⑦ 500倍液 - ベンレート水和剤^{#2} 1000倍液 - 根を露出した後、病患部を削りとり、次の薬剤のいずれかを土壌灌注する。 - トップジンM水和剤⑦ 500～1000倍 - フロンサイドSC 1000倍 100～200L/樹 500倍 50～100L/樹	^{#1} 10分間 ^{#2} 10～30分間

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
紫紋羽病	苗木植付前 生育期	・ 植付前に次の薬剤に根部を浸漬する。 ベフラン液剤25 250倍 ・ 次の薬剤のいずれかを土壌灌注する。 リゾレックス水和剤 1000倍 40L/樹 フロンサイドSC 1000倍 100～200L/樹 500倍 50～100L/樹	
うどんこ病	6月上旬～9月下旬	1. 被害新梢、被害花(葉) そうを摘みとる。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ポリオキシソールAL水和剤 1000倍 アンビルフロアブル● 1000～2000倍 ストロビードライフロアブル● 3000倍 トリフミン水和剤● 2000～3000倍 マネーグDF● 4000～6000倍	芽に潜伏する越冬菌糸が伝染源となる。台木にも発生が多いので注意する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
アブラムシ類 (リンゴコブアブラムシ・ユキヤナギアブラムシ)	4月中旬～6月中旬	・ 次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオソール水和剤 2000～3000倍 スミチオン乳剤 1000～2000倍 テルスター水和剤 1000倍 マブリック水和剤20 2000倍 マラソン乳剤 1000～3000倍	
リンゴワタムシ		・ 次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤー顆粒水和剤*a 5000倍 マラソン乳剤 1000～3000倍	*a露地栽培については発芽期から開花期を除く
クワコナカイガラムシ	冬期 6月上～下旬	・ 粗皮削りを行う。 ・ 次の薬剤のいずれかを散布する。 アルバリン顆粒水溶剤#1 2000倍 サイアノックス水和剤 1000倍 スタークル顆粒水溶剤#1 2000倍 スミチオン乳剤 1500倍 ダイアジノン水和剤34#2 1000～1500倍 モスピラン顆粒水溶剤#3 4000倍	#1コナカイガラムシ類での登録 #2若齢幼虫に適用 #3カイガラムシ類での登録

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
カメムシ類	6～7月	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 800～1000倍	
ナシグンバイ	8月上旬～中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤 1000倍 ダイアジノン水和剤34 1000～1500倍	
シンクイムシ類		・次の薬剤のいずれかを散布する。 サイアノックス水和剤 1000倍 ノーモルト乳剤 2000倍 ヨーバルフロアブル 5000～10000倍	
モモシンクイガ		1. 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA*、またはコンフューザーR*を設置する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 800～1200倍 ダイアジノン水和剤34 1000倍 テルスター水和剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000～4000倍	樹冠が混み合っていると風通しが悪くなると発生しやすい。 *果樹類での登録 昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。 #シンクイムシ類での登録
ナシヒメシンクイ	6月下旬	1. 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA*、またはコンフューザーR*を設置する。 2. 次の薬剤を散布する。 ダイアジノン水和剤34 1000倍	*果樹類での登録 昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。
ギンモンハモグリガ	6月下旬 8月上中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン水和剤40 800～1000倍 テルスター水和剤 1000倍 ノーモルト乳剤 4000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍 ヨーバルフロアブル 5000～10000倍	

リンゴ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハマキムシ類(ハマキガ類)	整枝剪定後(冬期) 4月下旬～9月下旬	・剪定枝は越冬幼虫や卵がついているので、萌芽までに処分する。 1. 広範な地域で設置可能であればコンフューザーAA＊、またはコンフューザーR＊を設置する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン水和剤 2000倍 サイアノックス水和剤 1000倍 スピノエースフロアブル 2000～3000倍 スミチオン乳剤 1000倍 ダイアジノン水和剤34 1000～1500倍 テルスター水和剤 1000倍 ファイブスター顆粒水和剤 2000～3000倍 マトリックフロアブル 1000～2000倍	＊果樹類でリンゴコカクモンハマキ、リンゴモンハマキ、ミダレカクモンハマキに登録昆虫フェロモンを用いた防除資材の項を参照。
モモチョッキリゾウムシ	落花直後	・次の薬剤を散布する。 アディオン水和剤 2000倍	
カミキリムシ類	6～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)	・次の薬剤を樹幹部に十分散布する。 トラサイドA乳剤 200倍	
ハダニ類(リンゴに被害するハダニ類にはナミハダニとリンゴハダニが含まれる。リンゴサビダニの登録は別であることに注意)	4月中旬～5月中旬 7月上旬～8月下旬	・次の薬剤を散布する。 ダニトロンフロアブル^{#1}、^{#2} 1000～2000倍 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 カネマイトフロアブル^{#2} 1000～1500倍 ニッソラン水和剤^{#2} 2000～3000倍 バロックフロアブル^{#2} ナミハダニ 2000倍 リンゴハダニ 2000～3000倍 マイトコーネフロアブル^{#2} ナミハダニ 1000～1500倍 リンゴハダニ 1000倍	4月中旬はハダニの第1回発生期に当たるので注意する。 殺ダニ剤は、同種のもを続けて使用しない(ハダニ類防除薬剤の項参照)。 ^{#1}リンゴサビダニには2000倍で登録 ^{#2}ナミハダニおよびリンゴハダニでの登録
その他の病害虫		リンゴスガ、サビダニ類、シャクトリムシ類	